

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 経験年数が少ない職員は何が身体拘束に当たるのか分からない・気づかない事があり、拘束とは認識せずに行っている行為もある。スピーチロックなども含めて日常の行動を確認する必要がある。	職員全員が高齢者への尊厳を理解し、日常生活の場で実践できるまでに身に着けていきたい。そして誰が見ても気持ちの良い、誠意ある対応を実践していきたい。	・定期的な勉強会を実施して知識を高めるとともに、職員間でも気づいた課題は早期に対応・修正を行う。 ・各利用者の課題を共有し、快適に過ごして頂く工夫を確認し合う。	12ヶ月
2	49	○日常的な外出支援 毎日午前中に散歩を行っているが、短い時間の中での外出である為、十分な外出とは言えない状態。 下肢筋力の低下してきている方への十分なケアを行うことが出来ていない。	歩行状態などのレベルに合わせて集団で散歩へ出かけたり、午後の過ごしやすい時間にも散歩を取り入れる。 散歩時のコミュニケーションの充実を図り、楽しい外出に心掛ける。	・同じ距離のグループを見直し、無理のない範囲で人数を増やす。 ・午後の個別レクの時間に散歩を取り入れ、不穏になりやすい時間帯を楽しく過ごして頂く。 ・職員が利用者を理解して話題を提供するなど工夫を一層深めていく。	12ヶ月
3	35	○災害対策 定期的に避難訓練を行い、地域の防災訓練にも参加して施設の認知を図る。 備蓄は充分ではない為、一層の充実を図る。 自治会との連携を深めていく。	災害時に必要な1週間分の食糧や備品の備えを充実させる。 運営推進会議の中で定期的に災害対策を検討し、地域との連携を深め、災害時に備える。	・1週間分の食糧や備品の備蓄・場所の確保。 ・運営推進会議で定期的に災害時の対応を話し合い、協力体制が円滑に取れる様にしていく。 ・近くに住む職員の駆けつけ体制を整える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。